

## 薬学部薬学科

### 学科としての教員養成の目標、計画、教育の質向上の取り組み

#### 薬学部 薬学科（中一種免（理科）・高一種免（理科））

---

##### ① 教員養成の目標

薬学部は昭和 57 年度（1982 年度）開設以来、一貫して医療薬学を学部教育の柱としてきた。平成 18 年度（2006 年）には 6 年制教育に移行し、この傾向は強まっている。このような、医療人としての専門知識を下地に、幅広い教養と科学者としての素養を兼ね備えた教育者を養成することも本学教員養成の大きな目標の一つである。教育現場では多彩な人材が求められているが、特色のある経歴で中学・高校の化学を担当できる人材を輩出することを目標とした。

##### ② 教員養成の計画

本学では、教職課程委員会が設置され、学科の枠を超えて教職課程の運営や指導を行っている。薬学部では、化学を担当するために、「物理学」、「物理実験」、「化学」、「化学実験」、「生物学」、「生物学実験」、「地学」、「地学実験」など必修科目 37 単位、選択科目 16 単位、合計 53 単位を開講し、専任教員 18 名で講義を担当している。また、本学科の病院実習や薬局実習、卒業研究など医療人としての知識はもとより、化学担当の教員としての素養も十分に身につくようにカリキュラムが設置されている。

##### ③ 教員養成教育の質向上の取り組み

人間性の向上は先に述べた病院実習や薬局実習で大きな成果を上げており、教育現場でも十分に通用するものである。また、4～6 年次には各研究室に配属され、教授陣と一体となって日々研究に従事している。このような現場教育、マンツーマン教育は教育者養成にも大きな成果を上げるものと自負している。

---